

事業所名

じゃんぱ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

17日

法人（事業所）理念		「共生と共育」 私たちは、人として誰もが尊厳が保たれ、安心して共に行き、共に育つことができる地域社会の実現を目指します。						
支援方針		利用児童の心身の状況及び、その置かれている環境に合わせ、個別の支援計画に基づき支援を行い、日常生活の自立とコミュニケーションなどを重点に行う。将来の余暇に繋がるように、様々な活動を取り入れ、人権侵害及び虐待防止等に努め、適切な支援を行う。						
営業時間		平日	13時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	送迎あり
		学校休業日 （土曜日）	10時	30分	14時	0分		
		学校休業日	10時	30分	17時	30分		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	毎日の健康管理と必要な対応を行います。児童の様子を確認し少しの変化に気づきけるよう見守りを行います。 身辺処理（靴の片づけ、荷物の整理、提出物の管理など）を自ら行動できるように、個々に合わせた支援し、習慣化できるようにしています。 一日の流れやイベントの説明など視覚的に理解できるよう事前の個別説明やしおりによる理解等を支援することで、不安なく過ごすことができるよう支援します。						
	運動・感覚	集団活動にて、外遊び（鬼ごっこ、散歩、公園の遊具遊びなど）や室内でダンス、ボルダリングなど体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図ります。 制作活動を通して、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、様々な体験を提供し支援します。 個別課題や学習を通して、基本となる姿勢保持を身につけられるようにします。 折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをつけていきます。						
	認知・行動	読み聞かせ（絵本）や制作を通して、季節を感じ、感覚を養えるようにします。 タイムタイマーを用いて、活動の切り替えを視覚と聴覚にて促します。 集団活動、制作活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることができるよう支援します。						
	言語 コミュニケーション	あいさつや会話など、円滑なコミュニケーションを行うことのできるよう支援します。 特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 絵カードやサインなどを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。						
	人間関係 社会性	子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。 散歩を通して、地域交流で自然にあいさつできるよう意識づけをしていきます。 集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関わりを持てるように支援します。						
家族支援		連絡ノート、お迎えや送迎時の会話などで随時情報共有をしていく。 必要に応じて面談や個別面談時に不安や困りごとへの相談援助を行います。				移行支援		学校や関連の医療・福祉施設と情報交換を行っていく。 必要に応じて会議を実施し、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。

<p>地域支援・地域連携</p>	<p>関係する機関（放課後等デイサービス、児童発達支援事業所、相談支援事業所）に様子を報告するなど情報共有し、密な連携を図る。 通所支援連絡協議会・自立支援協議会子ども部会への参加</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>毎月の療育検討会議の実施 虐待研修の実施 危機管理委員会の実施（感染、災害対策会議） 研修会の参加と伝達研修 全事業所合同での管理者会議の実施</p>
<p>主な行事等</p>	<p>土曜日（季節を感じられるお出かけ、クッキング、お楽しみ会、制作、など） 長期休暇中の外出活動、買い物、外食 季節ごとのイベント（夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など） 事業所敷地内でのプール遊び</p>		